

組織名称	双葉保育園
補職名・氏名	園長 水野 恵美子

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度	
標 題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）		
目標1	<p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. いきいき運動遊びの充実</p> <p>①多様な動きを身に着けられるよう遊びや教材・環境等を工夫し、いきいき運動遊びを毎日実施</p> <p>②巧みに動く体作りに向けた検討を職員間で実施し、共通理解を醸成</p> <p>③体力測定を実施（2回）し、成果を確認（3月）</p> <p>④保護者へ健康・体力づくりの情報提供と共有</p> <p>2. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた保育の充実</p> <p>①年齢に即した育てたい力を職員間で共通理解</p> <p>②関わりが深まる環境の工夫、充実</p> <p>③遊びや子どもの姿を随時交流、保育を充実</p>	<p>1. ①環境や発達に合わせた遊びを検討、実施。職員会（毎月）で交流、園児の体力向上を推進</p> <p>②巧みに動く体作りに向けた遊びの検討、共通理解</p> <p>③体力測定を実施（2回）すべての種目、学年で成果を確認。保護者に周知</p> <p>④クラス通信や参観日（2回）を活用し、保護者へ健康・体力づくりを情報提供</p> <p>2. ①年齢に即した育てたい力を共通理解</p> <p>②職員会で関わりが深まる環境や遊びを工夫したことを交流し保育力の向上促進</p> <p>③日々の遊びや子どもの姿を交流。計画を随時見直し、実施。保育を充実</p>	T2
目標2	<p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>円滑な園運営の推進および質の高い保育の提供</p>	<p>1. 保育事業の充実</p> <p>①保育研究会講演会、専門研修、各種研修への参加による学びの向上</p> <p>②保育研究会（4回）へ実践資料を作成し参加。PDCAサイクルを活用し、研究を推進。保育へ活用</p> <p>③個を理解した成長発達等の記録と適切な評価</p> <p>④架け橋期を意識し、接続カリキュラムを見直して小学校との接続を充実</p> <p>2. 円滑な園運営のための業務の見直し</p> <p>①ノートによる連絡、職員間の共通理解、周知の徹底</p> <p>②休日保育の申請方法変更を保護者に周知。安心安全な休日保育運営の見直し</p> <p>③職員の年休取得率向上、働きやすい職場環境の構成</p>	<p>1. ①保育研究会講演会（4月）専門研修（2回）各種研修に参加。学びを職員間で報告し合い共有し保育に活用</p> <p>②保育研究会に参加（4回）。PDCAサイクルを活用し研究を推進。保育へ活用</p> <p>③個の成長発達等の記録と適切な評価を実施</p> <p>④接続カリキュラムを見直し小学校との接続を充実</p> <p>2. ①連絡ノートやホワイトボードを活用し、周知を徹底</p> <p>②今年度、新利用者増加。新利用者には手紙を配布し、安心安全な保育運営を実施</p> <p>③職員が交流できる機会を設定し、働きやすい環境を構成。休暇取得率の向上</p>	T2
目標3	<p>親支援の充実</p> <p>親育ち4363と連携した親支援</p>	<p>1. 親支援の充実</p> <p>①園だより、クラス通信、学級懇談会、個別懇談を実施し家庭との連携を強化</p> <p>②生活のあゆみを活用し生活の見直しを保護者へ啓発</p> <p>③保護者の不適切な養育等が疑われる場合は、市及び関係機関と連携し、虐待防止や養育改善を推進</p> <p>2. 支援児保育の充実</p> <p>①支援児保護者と個別懇談にて受容促進（2回）</p> <p>②関係機関（各療育機関、保健センター、保育幼稚園課等）と連携した支援の充実</p> <p>③連絡会（1回）、スマイルブック・就学支援シートを活用しての小学校へのスムーズな移行の実施</p>	<p>1. ①園だより、クラス通信、学級懇談会（2回）個別懇談（7月）を実施し、家庭との連携を強化</p> <p>②生活のあゆみを実施（3回）。保護者の意識向上</p> <p>③保護者の対応や園児の身体、言動などに注意を払い観察を実施。要保護児童には特に注意し、報告。子ども家庭センター相談員との連携を実施</p> <p>2 ①支援児の保護者と必要に応じ個別懇談を実施。就学や気になる姿、対応について共通理解。その他、随時支援が必要な園児の保護者とも面談、支援の充実</p> <p>②関係機関と連携し支援を充実</p> <p>③幼保小連絡会、引継会、就学支援シートにて就学児の引継をしスムーズな移行を実施</p>	T3
目標4	<p>食育基本計画に基づく食育指導の推進</p> <p>子どもの健全な食生活と心身の生活を図るための食育の推進</p>	<p>1. 食育指導の充実</p> <p>①給食委員会（5回）、調理研（毎月）の研修内容を保育に反映</p> <p>②年齢に合った栽培活動と収穫、キッズクッキング体験を通じた食育活動の充実</p> <p>③食育指導の実施</p> <p>2. 健康的な食事に対する意識の向上</p> <p>①アレルギー児への適切な対応及び環境整備と、日常的な食品管理、衛生管理の徹底による安全・安心な給食提供</p> <p>②児童発達支援センターへの安全・安心な給食の提供</p> <p>③感染症拡大防止のための消毒と給食後の掃除の徹底</p> <p>④サンプルやレシピ配布による食への関心向上</p>	<p>1. ①給食委員会（5回）調理研（月1回）に参加し研修での学びを食育指導や調理の向上へ活用</p> <p>②年齢にあった栽培活動と収穫やキッズクッキングを実施。食への関心向上。給食の残食ほぼなし</p> <p>③毎日の給食やバイキング給食等で食育指導を実施</p> <p>2. ①安全確実な調理と、調理員と保育士との確認を実施（毎日）保育士の交代時の伝達確認の徹底</p> <p>②動線や手順を確認し、児童発達支援センターへの安心・安全な給食の提供</p> <p>③感染状況により消毒方法を変更。給食・おやつ時前後の机の消毒と床拭きを徹底</p> <p>④サンプル給食の展示・レシピ配布（8回）家庭での食育を推進</p>	T3
目標5	<p>地域と連携した園運営の充実</p> <p>地域に根差した園運営と危機管理の徹底</p>	<p>1. 地域の環境や人材を生かした保育の実施</p> <p>①園庭開放、ふたばっこひろば（年6回）、中央児童館への出張保育などによる未就園児親子の触れ合いの場を提供</p> <p>②園活動の周知と理解を図る保育所運営懇談会（2回）の開催、地域会議へ参加</p> <p>2. 危機管理に対する保育士の意識向上</p> <p>①職員会でヒヤリハットを共有、安全な環境整備の実施</p> <p>②避難訓練・交通指導（月1回）、防犯訓練（4回）、引き渡し訓練（1回）、午睡時呼吸確認（毎日）の実施</p> <p>③感染症に対する正しい理解と予防（消毒徹底等）</p> <p>④玩具や給食の誤飲・誤食予防の体制強化</p>	<p>1. ①ふたばっこ広場を実施（5回）。中央児童館の都合により今年度の交流は未実施</p> <p>②運営懇談会を実施（2回）。園だよりを配布（月1回）園活動の理解推進。地域会議に参加（2回）</p> <p>2. ①職員会でヒヤリハットを共有。安全点検を実施（月1回）</p> <p>②避難訓練・交通指導（月1回）防犯訓練（4回）午睡時の呼吸確認（毎日）実施。職員・園児の意識向上</p> <p>③各種感染症の知識を職員間で共通理解、保護者への注意喚起を手紙やメールにて配信。園内の感染予防と消毒作業を実施</p> <p>④玩具の安全確認の徹底、給食の誤食を防ぐため連携と複数での確認を徹底</p>	T3

組織名称	小泉保育園
補職名・氏名	園長 市原 浩代

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p>目標1</p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 関わる力の育成と環境構成の工夫</p> <p>①「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した保育内容の充実</p> <p>②身近な自然や人と関わることの楽しさや喜びを味わう体験活動の実施</p> <p>2. 体を動かすことの楽しさを感じる保育の充実</p> <p>①幼児期に身につけておきたい36の基本動作を意識したいきいき運動遊びを探索し毎日実施。計画的な取り組みにより体幹や足腰を強化</p> <p>②地域資源を活かした園外保育の充実</p> <p>③体を動かす楽しさが感じられる親子ふれあい遊びの充実と、保護者への情報提供</p>	<p>1. ①「10の姿」表の掲示により意識が向上。調査裏面の成長過程記載により子どもの捉え方が向上</p> <p>②人と関わることを意識した体験活動が充実し「生き抜く力」に直結</p> <p>2. ①36の基本動作を意識したいきいき運動遊びを毎日実施。ACP研修活用により保育力が向上。体幹や足腰の強化に直結</p> <p>②地域資源を活かした園外保育を72回実施。R7年度版園外マップの活用及び、県事業の活用により園外保育が充実</p> <p>③親子ふれあい遊びを参観日で実施、園だよりやクラスだよりで保護者に情報提供、家庭での親子の関わりに直結</p>	T2
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>保育士の資質を高め円滑な園運営</p>	<p>1. 保育士の資質向上</p> <p>①園内研の工夫と充実</p> <p>②不適切保育の未然防止、職員の意識の醸成</p> <p>③研究会、研修参加により保育士の資質向上を促進</p> <p>④PDCAサイクルを意識した保育日誌、支援日誌の活用による幼児理解の促進</p> <p>⑤危機管理体制の強化</p> <p>2. 業務負担軽減の推進</p> <p>①報告事項の掲示、朝礼周知による職員会の時間短縮と確実な情報共有。</p> <p>②職員配置ローテーションの定期的な見直しによる安全に配慮した業務負担軽減の推進</p> <p>③全職員協力体制がとれる風通しのよい職場づくり</p>	<p>1. ①グループワークを取り入れた園内研を計画的に実施（11回）資質向上に直結</p> <p>②定期的な振り返りにより不適切保育の未然防止、職員の意識向上に直結</p> <p>③研究会、研修参加により保育士の資質が向上</p> <p>④PDCAサイクルを意識した保育・支援日誌の活用により幼児理解が促進</p> <p>⑤研修受講、警察署の指導で危機管理意識が向上</p> <p>2. ①報告事項の掲示、朝礼周知による職員会の時間短縮と確実な情報共有を実施。</p> <p>②職員配置ローテーションの定期的な見直しによる安全に配慮した業務負担軽減の取り組みを実施</p> <p>③おたすけボードの活用で職員間の協力体制が確立</p>	T2
<p>目標3</p> <p>地域と運動した園運営</p> <p>地域力を生かした保育の推進と親支援の充実</p>	<p>1. 地域との連携を活かした交流事業の実施</p> <p>①統合を見据え北野保育園との交流を実施し（2回）、クラスだより等で保護者への適宜情報提供</p> <p>②小学校と連携した引き取り訓練により、災害時の緊急時における保護者、職員の意識向上</p> <p>③中学生ボランティア、老人会との交流の充実</p> <p>④地域の読み聞かせボランティアの活用（月5回）</p> <p>2. 親支援の充実</p> <p>①子どもを軸にして、保護者との相互理解の充実</p> <p>②成長のあゆみを活用し生活習慣の見直しを推進</p> <p>③「家庭教育の日」の意識化による親子時間の充実</p> <p>親子読書、ふれあい運動遊びの推進</p>	<p>1. ①統合を見据え北野保育園との交流を実施</p> <p>②小学校と連携した引き取り訓練により、災害時の緊急時における保護者、職員の意識が向上</p> <p>③中学生ボランティアとの交流（5回）を実施</p> <p>④地域の読み聞かせボランティアの活用（月5回）により絵本の好きな子が増加</p> <p>2. ①子どもを軸にした保護者との懇談会やおたよりの配布を実施。「竹馬見てね週間」「イルミネーション見かね会」など、保護者が子どもと感動共有する場の提供により保護者との相互理解が充実</p> <p>②成長のあゆみを活用し生活習慣の見直しを実施</p> <p>③「家庭教育の日」に合わせてこいずみっ子だよりを配信（12回）し親子でふれあう時間を推進</p>	T3
<p>目標4</p> <p>食育計画に基づいた食育の推進</p> <p>豊かな心と体を育む食育の在り方</p>	<p>1. 食べることを楽しめる子どもの育成</p> <p>①栽培活動、収穫体験、キッズクッキング等直接体験を通じた食育活動の充実</p> <p>②調理研（月1回）、給食委員会（年5回）の研修内容を活かした指導の充実</p> <p>③調理室の衛生管理、食品管理の徹底を実施（随時）</p> <p>④調理員のクラス巡回による食育指導の充実</p> <p>2. 「食」に対し保護者への情報提供と意識の向上</p> <p>①試食会や懇談会での情報提供</p> <p>②サンプル給食やレシピ配布による手作り料理の推進</p> <p>③保護者と連携しアレルギー食の安全な提供を実施</p>	<p>1. ①栽培活動（13種類）給食材料下処理手伝い（3回）を通して食に関わる直接体験が充実。調理員との連携により、収穫物の給食提供（33回）が実現、食べることを楽しめる子が増加</p> <p>②調理研や給食委員会の内容を職員間で共有し実践、園児への関わり方が充実</p> <p>③調理室の衛生管理、食品管理の徹底を実施</p> <p>④クラス巡回し園児の状況を把握、食材の大きさの確認を含めた食育指導を実施、担任との連携が強化</p> <p>2. ①懇談会で試食会を実施、和食を意識した発信により保護者の食に対する意識が向上</p> <p>②サンプル（27回）、レシピ配布（20回）を実施</p> <p>③保護者と連携しアレルギー食の安全な提供が実現</p>	T3
<p>目標5</p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①目標達成に向けた手立てと記録を基に、個別支援計画を作成。支援コーディネーターのアドバイスを活かした支援内容のレベルアップ</p> <p>②ケース検討会議（月1回）の充実</p> <p>③個別懇談を実施（2回以上）し、家庭と密に連携</p> <p>④関係機関（療育機関、保健センター、こども家庭課）と連携した支援の充実</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①中学校区教育懇談（2回）、幼保小連絡会等へ参加により連携を推進</p> <p>②スマイルブック・就学支援シートを活用した小学校へのスムーズな移行の実施</p>	<p>1. ①保護者との合意形成100%。目標達成に向けた手立てと記録を基に、個別支援計画（13名）を作成。特別支援コーディネーターのアドバイスにより支援内容が充実</p> <p>②ケース検討会議を工夫し随時開催。支援児の居場所づくり、支援グッズが充実</p> <p>③個別懇談を随時実施、家庭との連携が充実</p> <p>④関係機関による支援事業、保育所等訪問支援事業の活用により支援方法や幼児理解が充実</p> <p>2. ①中学校区教育懇談（2回）、特別支援コーディネーター研、幼保小連絡会参加により連携が充実</p> <p>②スマイルブック、支援シート（8名）の活用により引継ぎを実施、小学校へのスムーズな移行が実現</p>	T3

組織名称	共栄保育園
補職名・氏名	園長 加知 玲子

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p>目標1</p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 「安心と挑戦の循環」を通じた保育の充実</p> <p>① 毎日のいきいき運動遊びといきいき遊びの充実</p> <p>② 基本的な生活習慣の形成を図る指導の充実</p> <p>③ 主体的に遊ぶ保育環境の構成やPDCAサイクルに基づいた再構成</p> <p>④ 異年齢保育や地域活動で社会性を育成</p> <p>2. 架け橋期の教育、地域力を生かした保育の充実</p> <p>① 共栄小学校と連携した保育活動の充実</p> <p>② 地域の自然、施設を生かした保育の充実</p>	<p>1. ①計画通り運動遊びを展開。水遊びプールは34日間実施でき意欲的に挑戦する姿に妥容。他にいきいき遊び「あいうべ体操」を全園活動で展開</p> <p>②2回の学級懇談会で「心と体の育成」啓発資料により家庭と連携強化。更にあゆみシートで改善</p> <p>③職員間で相談を重ね、遊び環境を再構成。未満児室の遊びコーナーや、作り遊びが充実。園児が自ら考える主体性が向上</p> <p>④互恵性ある活動で社会性や思いやり関係が発展</p> <p>2. ①②共栄小学生と交流活動4回、年長児が毎月小学校へ通信を配達交流。園外保育で多くの公園へ出掛け、学びの丘エール美術館で学ぶ等、社会体験を充実</p>	T2
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>職員が心身共に健康でやりがいをもてる園運営</p>	<p>1. 適切かつ機能的な運営組織の確立と業務改善</p> <p>①園内研修で「こどもの権利と尊厳を守る」意識の醸成</p> <p>②5S活動で職場、保育環境の改善、維持</p> <p>③園内zoom研修で学びやすい環境を構成</p> <p>④保育研究会や外部研修で保育内容の充実（年20回）</p> <p>2. PDCAサイクルによる指導の工夫</p> <p>①実態に合った指導を相談、職員間で共有（週1回）</p> <p>②幼児理解に基づいた記録と適切な評価の実施（毎日）</p>	<p>1. ①毎月職員会の保育を考える研修で温かいまなざしの必要性を啓発。さらに10日間の全クラス公開保育を実施し、全員で互いの保育の良さ発見や再考する機会を実施。保育の質が向上</p> <p>②保育の役割分担の明確化や保育環境の改善を推進、安定した保育を展開</p> <p>③④研修機会を増やしzoom研修に14人、園外研修のべ156人受講。保育参考書の回覧で学び続ける環境を展開。研修後は園内で発表し学びを共有</p> <p>2. ①ケース会議や相談は毎日の事務時間に実施。決定事項は掲示で共有し、一貫した指導を展開</p> <p>②保育主任を中心に相談評価を共有。個の悩みを相談し合う会を適宜実施し指導力が向上</p>	T2
<p>目標3</p> <p>要支援児保育、地域との連携</p> <p>支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 家庭や関係機関、園内で連携した支援の充実</p> <p>①発達特徴を捉えた個別支援計画を作成し、保護者面談を実施（2回）</p> <p>②支援コーディネーターを中心とした支援の充実</p> <p>③関係機関（療育、子ども家庭課、保健センター）と連携した保護者支援</p> <p>2. 地域と連携した支援の充実</p> <p>①小学校との連携で円滑な就学を支援</p> <p>②中学校区教育懇談会（2回）、運営懇談会（2回）で地域に開かれた園づくりの充実</p>	<p>1. ①個別支援計画を8名作成。保護者と2回の面談で共有。目標に向け家庭、園内で相談連携し展開</p> <p>②副園長と担当5名で連携会議を8回実施。支援の悩みや実態の共有交流で指導力が向上</p> <p>③発達相談受検12名で保健センターと連携した子育て支援。受検後は園と家庭が話し合う機会に今後の方針を確認し療育接続。後期の訪問支援事業では保護者の不安を解消し、対象児の成長を確認</p> <p>2. ①連絡会やスマイルブック引継ぎ会、就学健診のサポート等で保護者の不安を軽減</p> <p>②教育懇談会2回や学校間の参観5回、運営懇談会2回で地域と連携。意見を受け月1回、写真での活動報告を委員や保護者へ公開し園理解を推進</p>	T3
<p>目標4</p> <p>親育ち子育て支援の充実</p> <p>親育ち4363と連動した子育て支援の充実や、地域における子育て支援体制の構築</p>	<p>1. 地域子育て支援センターの充実</p> <p>①はじめの100か月の育ちビジョンに基いた親子のウェルビーイングと成長を支援</p> <p>②東濃地区で連携した支援事業の充実</p> <p>③行事、保育内容の見直しと改善</p> <p>2. 保護者支援の充実</p> <p>①習慣向上わが子のあゆみシート、懇談会、園だより、クラスだよりで、家庭と園が連動した生活習慣を育成</p> <p>②保護者会と連携した保育、子育て支援の充実</p>	<p>1. ①③来園者へ温かい声掛けや相談の対応、心地よい遊び環境を展開。評判よく夏の水遊びには268名参加と増加。新たにきずなメールによる告知も実施</p> <p>②東濃地区連絡会を役員として運営。防災士の研修、小児科医による発達相談対応の研修を実施。各施設の支援内容や情報を共有し協力強化</p> <p>2. ①生活習慣を園と家庭で考える機会を提供し、連動した生活習慣、子育てを展開。保護者からは見直しを実践する声が増加し、健康状態が向上</p> <p>②保護者会主催の夏祭り、シャボン玉ショーを開催。保護者は保育体験で安心し家庭の協力が向上。昨年度より、保護者会の協力体制が強化</p>	T3
<p>目標5</p> <p>安全安心な保育の実施</p> <p>危機管理の徹底</p>	<p>1. 危機管理に基づく職員の資質向上</p> <p>①避難訓練・交通指導（毎月）、引き取り訓練（1回）、防犯訓練（3回）で安全教育の徹底</p> <p>②施設、遊具の安全点検（月1回）を実施し、危険箇所の改善</p> <p>③保育倫理や専門性に基づく保育の意識向上</p> <p>④感染症の対策や予防意識と早期対応の実施</p> <p>2. 安全安心な給食の提供</p> <p>①食品の衛生管理徹底による安心安全な給食提供</p> <p>②食物アレルギー児への適切な対応の徹底</p> <p>③エビペンの安全管理と危険時を想定した講習</p>	<p>1. ①安全教育は毎月の避難訓練、交通指導の他、引き取り訓練、共栄駐在所巡査の講話、県の連れ去り防止班講話など連携しながら実施。自分の身を守る指導で親子の安全意識が向上</p> <p>②安全点検は点検項目に沿って担当者が毎月確認。指摘箇所はすぐに対応</p> <p>③職員会内研修12回、園外研修45回のべ156名参加し資質が向上。園内でも交流し学びを定着</p> <p>④職員会で予防や対応を周知し保育で実践</p> <p>2. ①②保護者、保育士、調理員と連携し、安全な給食提供を実施</p> <p>③エビペンの安全管理と対応を職員会で周知共有</p>	T3

組織名称	北野保育園
補職名・氏名	園長 小島 章予

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度	
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）		
目標1	<p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 運動が楽しいと感じるいきいき運動遊びの充実</p> <p>①「体力アッププラン」を見直し、いきいき運動遊びの内容と環境を工夫し毎日実施</p> <p>②体力測定（1回）を実施し、成果課題を確認し反映</p> <p>③保育研究会を通して発達に合わせた運動遊びを交流し保育に反映</p> <p>2. 発達に合わせた保育の充実</p> <p>①集中力や自信を高めるいきいき遊びを毎日実施</p> <p>②「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」から保育の視点を捉えるための研修、研究及び実践</p> <p>③異年齢での関わり、当番活動やお手伝いなど自己肯定感が高まる保育内容の工夫</p>	<p>1. ①令和7年度体力アッププランを作成。いきいき運動を毎日実施。参観に親子運動実施(5、2月)</p> <p>②体力測定2回実施、投力向上に向けての遊びを職員会にて検討、いきいき運動で継続実施</p> <p>③保育研究会(5回)を通して学んだ内容と今後の見通しを職員会で交流し保育に反映</p> <p>2. ①動作の追加に加え、一斉と個別を交互に取り入れる等指導方法を工夫し毎日実施</p> <p>②10の姿について職員会で研修、週案にて記載し保育に反映</p> <p>③発育測定や野菜の栽培、運動会等を通して、異年齢での憧れや思いやりの姿を重視した保育活動を継続</p>	T2
目標2	<p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>架け橋期を意識した保育の充実と業務負担軽減のための対策検討</p>	<p>1. 「架け橋期」教育を見通した保育の充実</p> <p>①中学校区教育懇談（2回）をはじめ、小学校と連携し職員同士の交流の場を通して子供の姿の共通理解</p> <p>②小学校と連携し子ども同士の交流の場を設定</p> <p>③「全体的な計画」から週案へ下ろし子どもの実態に合わせ週案の裏面利用しPDCAサイクルを実施</p> <p>2. ワークライフバランスを意識した園経営</p> <p>①年次休暇の推進と自己評価による不適切保育の防止</p> <p>②全職員協力体制がとれる風通しの良い職場づくりと、保育準備の簡素化の検討</p> <p>③定期的なローテーションの見直しによる小ミーティングによる保育の質の向上</p> <p>④ICTによる業務改善の研究</p>	<p>1. ①校区懇(5月と1月)や支援コーディネーターによる幼保小見学会で、発達や子ども理解の共有</p> <p>②池田小交流、入学への安心感期待感向上(12月)</p> <p>③毎週週案から評価しPDCAに反映、保育を展開</p> <p>2. ①8月セルフチェックリスト、12月自園評価リストにより自分の保育を客観視、傾向と対策を職員会で確認、年次休暇随時取得</p> <p>②個別面談と学級話し合い等でコミュニケーションを図り、メンタルの保持増進と意欲向上</p> <p>③週1回の事務時間を使ったクラスと学年と全学年の各小ミーティングにより保育の質を向上</p> <p>④電話連絡票と出欠調査票の改善による事務の簡素化を実施(9月)</p>	T2
目標3	<p>地域連携と親支援の充実</p> <p>地域との連携を活かした保育所運営と子育て支援事業の充実</p>	<p>1. 地域の環境や人材を活かした保育の実施</p> <p>①畑栽培など地域の方と連携した保育の実施</p> <p>②地域の環境（緑地公園、遺跡等）を活かした保育を実施し、クラスだよりで地域の資源を保護者へ啓発</p> <p>③小泉保育園との統合を見据えた交流事業（2回）を実施し、クラスだよりにて保護者へ周知</p> <p>2. 親育ち支援の充実</p> <p>①成長や悩みを降園時に保護者と連携し育ちを共有</p> <p>②親子繪本やふれあい遊びなど、親子で触れ合える機会を増やし、子育て力の向上を促進</p> <p>③園だよりや懇談会で早寝、早起き、朝ごはんの大切さを周知し、保護者へ基本的な生活習慣の確立を啓蒙</p> <p>④園庭開放（6回）で未就園児保護者への子育て支援</p>	<p>1. ①喜楽会(年7回)と栽培等交流とボランティア絵本読み聞かせ(月1回)を実施</p> <p>②遺跡公園や喜多緑地公園を園外保育に活用。子ども達の姿をクラスだより配布や写真掲示で周知</p> <p>③小泉保育園交流(10月)、写真を加えたクラスだよりと行事写真門掲示にて保護者に周知</p> <p>2. ①保護者と顔を合わす機会を確保、メールでこまめに情報発信(76件)し、信頼関係を構築</p> <p>②園便りに親子運動コーナーを設け毎月情報を提供</p> <p>③各学級懇談会資料で基本的な生活習慣について周知。保護者はチェックリストより振り返りを実施</p> <p>④園庭開放(年6回、各2～8名の参加)</p>	T3
目標4	<p>要支援内容の充実</p> <p>要支援に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し、保護者との懇談（2回）を実施し、目標の共有と、家庭との連携による保育を実施</p> <p>②ケース検討会議を適宜開催し、職員間の共通理解を促し保育を実施</p> <p>③関係機関（児童発達支援センター、保健センター）と連携した支援の充実</p> <p>④訪問等支援事業を受け、支援のレベルアップ</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①支援コーディネーター交流、幼保小連絡会（1回）へ参加し連携を推進</p> <p>②スマイルブックの推奨及び就学時引継ぎシートを活用した小学校へのスムーズな移行</p>	<p>1. ①4月個別支援計画を作成(13件)。6、2月に保護者と合意形成により子どもの成長を共有(4件)</p> <p>②ケース検討会議と職員会にて全職員で子どもの変化と配慮事項を共通理解し保育を実施</p> <p>③3歳半健診、発達相談、療育見学、支援相談を通して、関係機関と連携し支援を充実</p> <p>④訪問等支援(前期8回、後期8回)を受け支援の資質が向上</p> <p>2. ①小泉校区支援コーディネーターの交流(8月)幼保小連絡会(10月)で子どもたちの姿を共有</p> <p>②スマイルブック新規登録3名、3者の引継ぎ会(2月3名)実施、情報と支援方法を移行</p>	T3
目標5	<p>危機管理体制の強化と安全安心な保育の充実</p> <p>安全教育の充実と安全安心な保育の実施</p>	<p>1. 危機管理体制の強化</p> <p>①非常時に備え避難訓練、交通安全指導、防犯訓練を定期的実施し、地域と連携した引き渡し訓練を実施</p> <p>②職員会でヒヤリハットを共有し、共通理解の上で環境整備を実施</p> <p>③施設、遊具の安全点検を実施</p> <p>2. 安全安心な給食の提供</p> <p>①調理員、栄養士職員及び保護者と連携しアレルギー児、支援を要する児の誤飲誤食誤嚥予防体制の強化</p> <p>②衛生、食品管理の徹底と安全安心な給食の提供</p> <p>3. 感染症対策</p> <p>①保育室の換気、清掃消毒に留意し実施</p> <p>②家庭への情報提供による感染拡大の予防</p>	<p>1. ①引渡し訓練実施(4月)災害時の園内役割分担動線を見直し改善、避難訓練(10月改定版作成)交通指導(毎月)防犯訓練(3回)を実施</p> <p>②毎月各クラスでヒヤリハットマップを記入。危険性の高い場所を職員会で検討、安全面強化</p> <p>③各土曜日に遊具点検実施。5、8月消防自主点検実施</p> <p>2. ①アレルギー児対応を4月職員会で周知。毎日の朝礼で確認、誤飲誤食ゼロで安全な保育を実施</p> <p>②検食による食品状態の確認(毎日)都度対応</p> <p>3. ①保育室の換気、清掃(毎日)消毒都度対応</p> <p>②保護者にメールで感染症の情報を提供し、日々感染状況をボードで周知</p>	T3

組織名称	市之倉保育園
補職名・氏名	園長 長谷川昌子

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p>目標1</p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 子どもの主体性を育てる遊びの充実</p> <p>①年齢に適した感覚機能を養うための室内外遊びを検討し、体力アッププラン、いきいき運動遊び及びいきいき遊びなど毎日実施。成果課題を確認し運動遊びや生活に反映</p> <p>②子どもが自ら遊びたい3つの視点、5領域を意識した保育内容の検討と改善及び工夫の実施</p> <p>③季節や環境を活かした体験活動や遊びの計画実施</p> <p>2. 要支援児保育の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し、ケース会議(月1)にて共通理解を図り、インクルーブ教育や支援内容の向上を促進</p> <p>②個別懇談(年2)を行い、家庭と連携した支援の充実</p> <p>③関係機関(児童発達支援センター等)と連携した支援充実</p>	<p>1. ①戸外遊びの前や裏山を利用したり、室内で運動器具を使った遊びを工夫したりするなど自ら体を動かしたくなるように遊びを毎日実施。体幹・持続力・集中力の強化が確認でき、今後も続行</p> <p>②職員会や学年会、月案週案にて保育内容について見直し改善し、子どもの主体性が育つ遊びを実施</p> <p>③季節にあった保育や園外保育を計画し、体験活動や夢中になって遊べる保育を実施</p> <p>2. ①個別支援計画を作成し、ケース会議(月1)にて職員間での共通理解を図り、支援内容の向上促進</p> <p>②個別懇談を6月、2月に実施し、家庭と連携</p> <p>③保健センターや児童発達支援センター、こども家庭課巡回相談と連携した支援内容に充実</p>	T2
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>円滑な園経営の推進及び質の高い保育の提供</p>	<p>1. 職員の資質向上のための園内外研修の実施</p> <p>①『架け橋期』教育を意識した全体的な計画(保育課程)や年案月案を見直し、評価・課題検証・改善実施</p> <p>②保育研究講演会、専門研修、各種研修会(保育研等)への参加、実践資料に基づいた園内研修実施</p> <p>③教材等の研究など保育知識・情報の共通理解</p> <p>2. ワークライフバランスを意識した園運営実施</p> <p>①確実な情報共有の工夫。ICTによる業務改善の研究</p> <p>②見直しを踏まえた計画及びPDCAサイクルを意識した保育実践、教材準備及び全職員の協力体制を構築</p> <p>③保育士不足の中における職員の負担軽減につながる業務内容の見直し及び改善の積極的実施</p>	<p>1. ①週案月案にて保育の見直しをし、評価・課題を検証。『架け橋期』教育を意識しているか確認</p> <p>②保育研究講演会(4月)、専門研修(6,12月)、保育研究会(5,7,10,1月)、テーマ別研修、東濃ブロック研修会への参加及び職員会での園内研修実施し資質向上</p> <p>③教材等を検討し、他学年とも情報を共通理解</p> <p>2. ①伝達事項をホワイトボードにて掲示。朝礼や職員会で伝達したことを書面にて情報提供</p> <p>②行事など見直し計画的に準備をし、実践後は必ず反省及び評価した後、課題を次回に反映。職員協力体制を構築</p> <p>③業務内容の見直しをし、重複する書類の削減など改善</p>	T2
<p>目標3</p> <p>親支援の充実</p> <p>親育ち4363と連携した親支援の充実</p>	<p>1. 早寝・早起き・朝ごはんの推進</p> <p>①園だより(年3)や懇談会(年2)で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②各年齢に応じた内容を検討し、生活のあゆみなどを活用し、生活の見直しを保護者に周知</p> <p>2. 子育て支援の充実</p> <p>①登降園時、個別懇談会(年1)、クラスだより(月1)、行事への参加にて子どもの日常の様子を保護者と相互理解し、子育ての充実</p> <p>②親子ふれあい遊びや絵本の紹介など情報提供</p> <p>③保護者に不適切な養育等が疑われる場合に市や関係機関と連携し、適切な対応で虐待予防や養育改善</p>	<p>1. ①園だよりやクラス懇談会(5,2月)に生活全般及び早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②生活のあゆみ(5,10,1月)にて子どもの生活の振り返りを保護者に周知。保育園と連携し生活の改善</p> <p>2. ①登降園時、個別懇談会(7月)で、保育園での子どもの様子を伝え、保護者と相互理解</p> <p>②保育参観(5,2月)や園だより、クラスだよりにて親子ふれあい遊びや絵本の紹介をし情報提供</p> <p>③登園時や衣服着脱する機会に身体に異常がないか視診。また、職員の研修を行い、早期発見及び虐待予防</p>	T3
<p>目標4</p> <p>食育基本計画に基づく食育指導の推進</p> <p>子どもの健全な食育生活と心身の成長を図るための食育の推進</p>	<p>1. 食育指導の充実</p> <p>①給食委員会(年5)、調理研(月1)、食育研(年6)の研修結果を保育に反映</p> <p>②年齢に合った栽培活動(年5)と園行事や園の生活にあわせたクッキング体験の実施</p> <p>2. 健康的な食事に対する意識の向上</p> <p>①試食会や懇談会での情報提供の実施(年2)</p> <p>②サンプル展示及びレビレを配布し、食への意識向上</p> <p>③アレルギー児への適切な対応及び環境を整備。食品の管理(毎日)の徹底により、安全・安心な給食の提供</p> <p>④給食及び玩具等の誤飲、誤食予防の体制の強化</p>	<p>1. ①給食委員会(5回)、調理研(月1)、食育研(年6)の研修に参加し、職員会にて報告。保育に反映</p> <p>②各年齢で栽培物(11種)を育て、給食室や家庭で調理したり、おにぎりやじゃが餅、ポップコーンのクッキング体験を実施</p> <p>2. ①3歳児(5月)5歳児(2月)保育参観後、試食会を行い、食に関する話を行うなど情報提供</p> <p>②サンプル展示やレビレを配布(月1)し食への意識向上</p> <p>③アレルギー児の献立を毎日、朝礼、給食室、給食室から部屋までの運搬時、クラスでの配膳時に確認。安全・安心な給食提供</p> <p>④給食及び玩具等の誤飲、誤食予防の体制強化</p>	T3
<p>目標5</p> <p>地域に開かれた保育園運営の充実</p> <p>地域と連携した円滑な園運営</p>	<p>1. 地域の教育力を生かした保育の充実</p> <p>①小学校へスムーズに移行するために、職員交流や児童・園児交流、小学校連絡会、就学支援シートを活用</p> <p>②中学校、老人会交流(年2)、公民館交流、ひよこ広場(年6)、児童センター、地域行事参加を実施</p> <p>③園運営への理解と地域の連携を図る運営懇談会を開催、地域行事への出席</p> <p>④どんぐりの森清掃事業の円滑な実施</p> <p>2. 危機管理に対する保育者の意識向上</p> <p>①災害時を想定した引渡訓練、避難訓練、交通指導、防犯訓練の実施</p> <p>②感染症予防の徹底、地域や保護者との情報共有、職員の意識向上</p>	<p>1. ①小学校の運動会練習見学や生活科の授業・小学校見学に園児が参加、小学校運営連絡会や連絡会、スマイルブック引継ぎ会にて小学校との交流充実</p> <p>②老人会との交流(6,1月)、公民館で七夕飾りやラジオ体操の交流、未就園児ひよこ広場5,6,7,10,11,12月の実施、児童センターへ遠足に行き交流</p> <p>③地域懇談会等に参加し、行燈祭りに出席、鏡餅を頂くなど地域の方との交流</p> <p>④どんぐりの森清掃を6月に実施</p> <p>2. ①災害時を想定した引渡訓練(5月)、避難訓練(月1)、交通指導(月1)、防犯訓練(6,7,10,2月)実施</p> <p>②感染症予防の徹底、保護者等に感染症流行時掲示などで情報を提供し、職員の意識向上</p>	T3

組織名称	笠原保育園
補職名・氏名	渡邊 恵子

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p>目標1</p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. いきいき遊び、いきいき運動遊びの充実</p> <p>①多様な動きを身に着けることができるよう、いきいき運動遊びを実施（毎日）</p> <p>②体力向上を意識した戸外活動の実施</p> <p>③保護者へ健康・体力づくりの情報を提供し共有</p> <p>④毎日実施することを通して、子どもの自己肯定感や活動への意欲を向上</p> <p>⑤教材の交流や発達に合わせた教材の作成</p> <p>2. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力」を踏まえた保育の充実</p> <p>①子どもが遊び込むための素材や環境を工夫、充実</p> <p>②遊びや子どもの姿の交流を随時行い、保育を充実</p>	<p>1. ①子どもの発達に合わせた遊びを検討・実施。学年会で振り返りや次の活動への共通理解を充実</p> <p>②地域の体育館を利用し、足腰強化を推進</p> <p>③参観やクラスだよりを利用し、保護者意識を向上</p> <p>④多様な動きや変化を加えたりする遊びを毎日実施。体力、活動に対する挑戦・意欲が向上</p> <p>⑤子供に合わせた教材を作成することで、遊びへの興味・関心が向上</p> <p>2. ①学年会、職員会にて子どもの姿を交流し、遊びの交流を行い、系統立てた遊びの工夫を実施</p> <p>②日々の遊びについての交流・検討を行い、保育を継承。子どもに対する様々な方面からの見方を交流し、保育を充実</p>	T3
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>保育士の資質向上と親育ち4363と連動した親支援の充実</p>	<p>1. 保育資質の向上と業務の見直し</p> <p>①運動遊びを窓口とした保育研究会を実施（5回）PDCAサイクルを活用して保育内容を発展・充実</p> <p>②各種研修会に参加し交流し合うことで、保育内容の充実及び資質の向上</p> <p>③業務内容の見直しやスリム化を日常的に検討、実践。</p> <p>④チェックリストを活用し、不適切保育防止の意識醸成</p> <p>⑤架け橋を意識した小学校との交流の充実</p> <p>2. 親支援の推進</p> <p>①学力向上チェックリスト、生活アンケートを実施、結果を保護者と共有</p> <p>②生活習慣の向上につながる情報を発信</p>	<p>1. ①統一した動きに視点を持ち、研究会を実施することで、より保育の振り返りが充実。常にPDCAサイクルを意識した保育を実施</p> <p>②各種研修会に参加（対面、オンライン等）し、報告により職員間共有を行い、保育の質の向上</p> <p>③職員間の協力体制を推進し、事務時間の保証とスリム化により、仕事の効率化を推進</p> <p>④年間2回チェックリストを使い振り返りを実施</p> <p>⑤職員間の情報交流・年長児と一年生の交流を実施</p> <p>2. ①学力向上シート（2回）保護者アンケート（2回）。懇談会を利用して課題発見し、見直しを実施</p> <p>②生活習慣向上に関し、懇談会資料、クラスだより及び園だよりにて保護者に定期的周知</p>	T2
<p>目標3</p> <p>笠原こども園の開園に向けた準備</p> <p>円滑な移行の準備、工事期間中の安全な保育の実現</p>	<p>1. 笠原保育園、幼稚園の統合こども園化の推進</p> <p>①工事期間中の安全確保と保育・運営の工夫</p> <p>②園舎引っ越しと並行した保育運営を安全に実施</p> <p>③こども園整備計画の進捗を随時保護者、地域に発信</p> <p>④保育環境の変化に対する園児・保護者・職員のメンタルケアを保証</p> <p>2. 幼保小中との交流の充実</p> <p>①一貫教育を踏まえた保育の充実</p> <p>②こども園化を見据えた幼稚園との交流事業の実施</p> <p>③こども園化に向けた、育友会運営協議や保育運営協議を実施</p> <p>④地域に対して随時、こども園化への状況を報告</p>	<p>①関係者との意見交換を密に実施し、工事の進行に合わせて出てきた問題に対して迅速に対応</p> <p>②子どもたちへの保育への影響を最小限にしながら6月、2月、3月の引っ越しを無事に実施</p> <p>③随時情報を提供し理解の上事業を実施</p> <p>④子どもや保護者に寄り添い、不安に対して迅速に対応。利用して分かった問題に対して、業者・役所と相談しながら迅速に対応</p> <p>2. ①一貫教育の柱を意識した保育蒙を実施</p> <p>②幼稚園との交流の年間計画を作成し実施</p> <p>③幼保育友会調整会議、幼保園運営会議を実施</p> <p>④運営懇談会を2回実施。一年間の運営方針を説明。子ども園化への状況も随時報告</p>	T2
<p>目標4</p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①発達を踏まえた個別支援計画を作成</p> <p>②ケース検討会議（月1回）を開催</p> <p>③就学相談など保護者との個別懇談を適宜実施</p> <p>④関係機関（児童発達支援センター、保健センター等）と連携した支援の充実</p> <p>⑤職員間での適切な情報共有を行い、統一支援を実施</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①中学校区教育懇談会（2回）、連絡会（1回）及び各小学校との職員交流を積極的に実施</p> <p>②小学校との密接な連絡調整により就学後もフォロー</p> <p>③特別支援コーディネーター研修を通じた情報交流や連携を実施</p>	<p>1. ①保護者との面談を実施し（5月）、共通理解のもとに計画を作成。成果確認を実施（3月）</p> <p>②ケース検討会議を毎月実施。園児の姿や支援方法を確認、振り返り、日々の保育を充実</p> <p>③支援コーディネーターを中心に保護者面談を実施し、就学先選定について保護者理解を醸成</p> <p>④訪問支援事業・巡回指導を通し、連携した支援を実施。支援内容の向上を促進</p> <p>⑤職員会で情報共有し統一的な支援を実施</p> <p>2. ①教育懇談会（2回）幼保小中一貫教育はじめの会（1回）にて情報交流を実施</p> <p>②卒園児の交流を1年生担任と実施（4月）</p> <p>③小学校の先生による年長児参観を実施し情報共有</p>	T2
<p>目標5</p> <p>食育計画に基づいた食育の推進</p> <p>豊かな心と体をはぐくむ食育の在り方</p>	<p>1. 指導の充実</p> <p>①調理研（毎月）、給食委員会（5回）及び食育研（6回）など研修内容の共有、活用し、指導を充実</p> <p>②年間計画に沿った野菜の栽培、収穫体験、年齢に適したクッキング体験を通した食育活動の充実</p> <p>③調理室の衛生管理、食品管理の徹底を実施（随時）</p> <p>④クラス巡回による食育指導の実施</p> <p>2. 「食」に対するの情報提供と意識の向上</p> <p>①試食会や懇談会での情報提供</p> <p>②視覚的效果を期待したサンプル給食展示を随時実施</p> <p>③アレルギー食、離乳食等保護者と連携し、安全、安心な提供を実施</p>	<p>1. ①調理員研修に参加し技術を向上</p> <p>②収穫物を使ったクッキングや給食を実施し、子どもの食育意識を醸成</p> <p>③衛生管理表に基づいた清掃を毎日実施。在庫管理を徹底し食材を発注。新調理室での作業分担を的確に行い、給食を提供</p> <p>④子どもへの直接対話を通して積極的な食育活動を実施。食への関心が向上</p> <p>2. ①保護者を対象とした食育だよりやレシピを発行（1回）食への関心が向上</p> <p>②サンプルを展示し、調理員と保護者が直接交流</p> <p>③アレルギーチェック表、朝礼にて毎日のチェックを実施。安全に給食を提供</p>	T3

組織名称	星ヶ台保育園
補職名・氏名	園長 川西 有潔

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度	
標 題	実施する業務の内容	成 果（評定時に記入）		
目標1	<p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. いきいき遊び・いきいき運動遊びの充実</p> <p>①「体力アッププラン」を作成。体を動かすことが楽しいと感じる内容と環境を工夫し毎日実施</p> <p>②体力測定（2回）を実施。成果課題を確認し反映</p> <p>③体を動かすことに夢になれる子を目指し保育研究会にて発達に合わせた運動遊びを交流。保育に反映</p> <p>2. 豊かな心を育む保育の充実</p> <p>①集中力や自信を高めるいきいき遊びの実施（毎日）</p> <p>②5領域や3つの視点から繋がる「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した保育内容の実施</p> <p>③異年齢でのかかわりを通して自己有用感や自己肯定感などを高める活動の工夫</p>	<p>1. ①令和7年度体力アッププランを作成。いきいき運動タイムを毎日実施。朝遊びを可視化ボードを使い共通理解のもと実施。遊びへの意欲の増加</p> <p>②体力測定2回を実施。投力に課題。教材を作成</p> <p>③保育研究会（3回）を通して学んだ内容を職員会で交流し保育に反映</p> <p>2. ①カード、体を使ったものなどいろいろな内容を取り入れ毎日実施</p> <p>②職員会にて動画研修（5回）職員間で育ちを学び合い保育に反映。保育の質が向上</p> <p>③行事や活動に異年齢のかかわりを取り入れ（月1回以上）思いやりや自己肯定感が向上</p>	T2
目標2	<p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>架け橋期を意識した保育の充実と業務負担軽減のための対策検討</p>	<p>1. 「架け橋期」教育を見通した保育の充実</p> <p>①中学校区教育懇談（2回）学校運営評議会など職員同士の交流の場を通して子どもの姿の共通理解</p> <p>②小学校、中学校と子ども同士の交流の場の設定</p> <p>③「全体的な計画」から週案へ下ろし子どもの実態に合わせ週案の裏面を利用したPDCA</p> <p>2. ワークライフバランスを意識した園経営</p> <p>①自己評価やチェック表等による職員意識の向上とリフレッシュ休暇取得による不適切保育の防止</p> <p>②全職員協力体制のとれる風通しの良い職場づくりと伝達事項周知と情報共有できる体制の工夫</p> <p>③職員会時間削減のための話し合いの時間の確保</p>	<p>1. ①校区懇（年2回）や滝呂小運営評議会（4回）を通して子どもの姿を交流し共通理解</p> <p>②中学生職場体験や滝呂小学校と交流（各年1回）</p> <p>③毎週週案から評価反省をPDCAし保育を展開</p> <p>2. ①「チェックリスト」（年2回）自己評価（年1回）を実施。保育を振り返り不適切保育を防止</p> <p>②風通しの良い職場づくりにむけ、伝達事項はホワイトボードを利用。職員会議録はメール配信にて周知。理解を深めるため話し合いの時間を3～4回開催し、共通理解のもと保育を推進</p> <p>③延長児保育の為、職員会に参加できる人数に制限がある為、職員会の行い方を工夫。代表者会議や当日職員会を昼に開催し時間外の職員会を短縮</p>	T2
目標3	<p>親支援の充実と地域の連携</p> <p>親子4363と連動した親支援と地域との連携の充実</p>	<p>1. 家庭と連携した保育の充実</p> <p>①成長や悩みを降園時に保護者と連携し育ちを共有</p> <p>②N0テレビN0ゲームの日の定着で親子ふれあいの機会を確保。アンケートを実施</p> <p>③親子絵本や参観日など親子で触れ合える機会を増やし、子育て力の向上を促進</p> <p>④園日より懇談会で早寝、早起き、朝ごはんの大切さを周知。成長のあゆみを利用し保護者へ基本的な生活習慣の確立を啓蒙</p> <p>2. 地域との連携の充実</p> <p>①養正幼稚園、双葉保育園、滝呂小学校との交流</p> <p>②園庭開放（5回）や児童館交流など未就園児保護者への子育て支援</p>	<p>1. ①4,5月保護者との信頼関係構築のため話す機会を重視。都度成長の姿を交流</p> <p>②N0テレビN0ゲームの日推進のため、園日より（3回）にて記事を掲載。1月アンケート実施</p> <p>③参観日（年2回）試食会（年3回）と講演会（1回）を実施し子育て力が向上</p> <p>④懇談会（年2回）各クラス周知。保護者のあゆみ記入による振り返り（年3回）と成長結果を配布</p> <p>2. ①養正地域懇談会（2回）滝呂児童館運営委員会（年1回）に出席。地域との連携強化</p> <p>②園庭開放（5回）滝呂児童館乳児クラブ来園（1回）養正交流センター訪問（1回）で未就園保護者への子育て支援</p>	T3
目標4	<p>要支援児保育の充実</p> <p>児の理解を基にした支援内容の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し、保護者との懇談（2回）を実施。目標の共有と家庭との連携により保育を実施</p> <p>②ケース検討会議を適宜開催し、職員間の共通理解を促し保育を実施</p> <p>③関係機関（児童発達支援センター、保健センター）と連携した支援の充実</p> <p>④訪問等支援事業を受け、支援のレベルアップ</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①支援コーディネーター交流。幼保小連絡会（1回）へ参加し連携を推進</p> <p>②スマイルブックの推奨及び就学支援シートを活用した小学校へのスムーズな移行</p>	<p>1. ①個別支援計画を作成。6,2月保護者との懇談会を実施。保護者と連携し保育を実施</p> <p>②ケース会議（5回）を実施。職員会にて共通理解のもと保育を実施</p> <p>③児童発達センターや他の療育施設と連携し保育を実施。発達相談（13回）3歳半検診で保健センターと連携し支援の充実</p> <p>④訪問等支援事業（前期後期各6回）を受け支援の質が向上</p> <p>2. ①小学校へのスムーズな移行となるよう保護者と就学に向け回数を重ね面談を実施（6名）</p> <p>②支援の充実に向けスマイルブック活用を推奨し3名新規作成</p>	T3
目標5	<p>安全な保育の実施</p> <p>安全安心な保育の実施と危機管理の徹底</p>	<p>1. 危機管理体制の強化</p> <p>①非常時に備え避難訓練、交通安全指導、防犯訓練を定期的実施し、地域と連携した引き渡し訓練を実施</p> <p>②職員会でヒヤリハットを共有し、共通理解の上で環境整備を実施</p> <p>③施設、遊具の安全点検を実施</p> <p>2. 安全安心な給食の提供</p> <p>①調理員、栄養士職員及び保護者と連携しアレルギー児、支援を要する児の誤飲誤食誤嚥予防体制の強化</p> <p>②衛生、食品管理の徹底と安全安心な給食の提供</p> <p>③子ども一人一人に合わせた給食（離乳食）の提供</p> <p>3. 感染症に関する情報を職員及び保護者と共有し、マニュアルの再確認と職員連携を充実</p>	<p>1. ①計画に基づき各訓練を実施。保護者と協力し引き渡し訓練を実施。保護者にアンケートを実施し意見を反映させ改善</p> <p>②職員会でヒヤリハット事例を検討（毎月）</p> <p>③施設・遊具点検を実施（毎月）環境整備に反映</p> <p>2. ①アレルギー対応児を4月職員会で共有。随時発症するアレルギー対応は調理員と丁寧連携</p> <p>②検食による食品状態確認（毎日）消毒都度対応</p> <p>③0歳児は保護者との面談後、幼児食へ移行。細心の注意を払い提供</p> <p>3. 感染症が流行した場合は即時メールで注意喚起。職員間の情報共有と対応の再確認</p>	T3

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1 健全な心と体を育む保育の充実 「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実	1. 豊かな遊びと環境構成の工夫 ①意欲と自己肯定感を高めるいきいき遊びといきいき運動遊びの工夫と充実 ②なかよし遊びの年間計画を作成、主体的に遊べる子を目指した職員の連携と環境づくり 2. 発達を促す保育の充実 ①幼児理解に基づいた記録と適切な評価の実施(毎日) ②総合教育センター講座の講師要請において指導計画と幼児理解の評価についてまとめ、発表 ③たじっこチャレンジやチャレンジカードの活用で生活習慣の見直しと親子の意識の向上 ④「架け橋期」教育を意識した保育の充実	1. ①年間計画をもとにスモールステップで意欲を高め、継続的な実践により自己肯定感アップ。いきいき運動は異年齢で取り組む遊びを工夫し実施 ②作成した年間計画を修正しながら実践。子どもの姿から環境を整え、季節の遊びやクラス活動を連動させた遊びを実施 2. ①子供を多角的に捉え職員間で共有し評価記録 ②岐阜県総合教育センターの「幼稚園等新規採用者教員研修」講師を受けPowerPoint作成7月発表。作成した資料を園内でも共有 ③各カードの活用で生活習慣の弱さが明確化。手紙による啓発とクラス懇談会で親子の意識が向上 ④アプローチカリキュラムを意識した保育の充実	T2
目標2 保育事業の充実と業務改善 R9年度発表に向けた教育活動の充実	1. 全園児がともに育ちあえる教育活動の工夫 ①教育課程の見直しとPDCAサイクルを意識した週案の作成 ②園児数に合った保育の内容を検討し、異年齢保育を充実 ③定期的に学年会、ケース会議を開催。発達や成長を検証し、保育に反映 2. 発表を見通した職員の意識と資質向上 ①構想図の見直しと研究主題に沿った園内研の充実 ②「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を意識した保育の計画と実践 ③各種研修会、研究会による資質向上と学びの共有	1. ①異年齢保育を意識した教育課程の見直しと実践。週案の事前提出による計画の把握と保育指導、事後の振り返りの繰り返して新人育成に尽力 ②少人数を強みとした保育を職員間で検討し、学年別、合同、異年齢と活動に合わせ保育を柔軟に実践 ③学年会(毎月)ケース会議(12回)開催。発達や成長の共有と支援や保育内容の反映で育ちに直結 2. ①園内研(3回)の学びや日常保育から幼児理解や弱さ、願う姿等を職員間で共有し研究発表に向けた構想図を構築 ②「10の姿」の項目を週案記載で職員の意識向上 ③全国、東海北陸等各種園長研修会に参加。全国の動きや架け橋期など資質向上と職員会で学びの共有	T2
目標3 園運営の理解促進と統合に向けた準備 円滑な園運営に向けた保護者との連携	1. 保護者理解のもと進める園運営 ①合同保育の良さを啓発し理解を促進 ②少人数にあった行事の見直しと保護者理解 ③園行事と連動した家庭教育学級の実施 ④保育幼稚園課との連携による統合への情報共有 ⑤円滑な統合に向けた父母の会との連携 2. 保護者との連携と親支援の充実 ①幼稚園と家庭の連携で親育ち子育ての促進 ②母親ボランティアによる保育活動への参加で子ども理解の推進 ③保護者との個別懇談(年2回)で家庭と連携	1. ①②保育活動を写真で見える化し保護者に啓発。合同、異年齢保育等好評で園運営の理解促進 ③子ども参加型の講演会、音楽鑑賞等で家庭教育学級の参加者3倍。学年の壁を超えた日常交流の増加 ④⑤保護者の不安の相談や意見を聴取。保育幼稚園課に随時報告し連携強化。昭和幼稚園と園内研職員交流(1回)子どもの交流(1回)父母の会と統合に向けた連携を推進 2. ①②保育参加の機会増加(読み聞かせ、夏祭り、触れ合い祭り等)で集団の中の子供の姿を理解。成長と課題の共有で子育て支援を促進 ③個別懇談会(2回)面談(15回)実施し園と家庭の様子の共有で保育や支援に反映	T2
目標4 地域力を生かした保育の充実 地域に密着した円滑な園運営と関係機関との連携	1. 地域の教育力を生かした保育の充実 ①地域と協力、連携した保育内容の展開(保育園、小学校、中学校、高校、公民館、商店街等) ②園庭開放(3回)実施し参加者に幼稚園の良さをPR ③評議員会、養正会議で園の運営と幼稚園教育の理解と推進 ④給食試食会や親子栽培収穫体験で食育の推進 2. 関係機関と連携した保護者支援 ①小学校や保育園と計画的な交流を実施 ②個別支援計画を作成し、保護者と面談(3回) ③関係機関(児童発達支援センター・保健センター等)と連携した支援の充実	1. ①保育園(2回)、小学校(8回)、中学校(3回)、高校(1回)、公民館(5回)、商店街(2回)の連携で豊かな心の育みと保育の充実 ②園庭開放3回、延28人参加。幼稚園の特色をPR ③評議員会開催(2回)養正会議参加(3回)で園の現状や運営、保育内容等を報告。幼稚園運営に理解 ④親子の試食会(1回)園で栽培収穫調理体験と栽培物持ち帰りが家庭の食育推進と親子の触れ合いで好評 2. ①交流計画を立案し回数、ねらいを確認。3学期は、小学校の休み時間に自然な交流実施 ②個別支援計画(4人)作成。面談(各3回)実施 ③関係機関の連携とセンター的機能、専門職員派遣事業の利用で幼児理解の確認と支援に反映	T3
目標5 安心・安全な園運営の実施 危機管理の徹底と園の特性を生かした保育の実施	1. 危機管理体制の強化 ①引き取り訓練(1回)避難訓練・交通指導(毎月)防犯訓練(3回)消防署によるAED講習実施 ②施設、遊具の安全点検を毎月実施 ③職員間でヒヤリハット共有、安全な環境整備の実施 ④衛生推進者養成講習の参加で学びを実践 2. 施設の有効活用 ①空き部屋の有効活用で保育の充実 ②少人数学級を生かしたクラス活動と異年齢保育 3. 働き方改革 ①ワークバランスを考慮した業務改善の実施 ②ICTによる業務改善の研究	1. ①各種訓練・指導を計画通り実施。7月にAED講習実施。防犯、災害、事故防止の各セミナーを自主的に受講し職員会で報告・訓練再検討後実践 ②施設、遊具の安全点検実施(毎月)異常は速やかに報告、対処 ③職員間でヒヤリハットの共有と環境整備実施 ④衛生推進者養成講習に参加。学びを職員会で報告 2. ①空き部屋をサーキットや異年齢保育で活用 ②柔軟な運営で活動に応じた、同・異年齢保育実施 3. ①他園を参考にした業務の見直しと職員の意識向上で業務改善 ②園長会でICT研修参加後、職員会で報告。利用方法を検討	T3

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p>目標1</p> <p>健康な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 子どもの主体性と意欲を育てる遊びの充実</p> <p>①「体力アッププラン」を作成し、体力向上を目指したいいき運動遊びを毎日実施。体力測定実施（2回）で効果測定（3月）及び検証</p> <p>②いきいき遊び、なかよし遊びにおいて、主体性や意欲向上を目指した指導と環境構成の工夫、改善</p> <p>2. 発達と実態に合わせた保育の充実</p> <p>①資質能力の3つの柱から繋がる幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識した保育内容の実施、改善</p> <p>②遊びや活動に合わせた異年齢保育の実施と子ども理解の交流、共有</p> <p>③個別支援計画等で要支援児保育の充実</p>	<p>1. ①体力測定2回実施（6,12月）と効果検証。様々な運動遊び導入で体力向上促進</p> <p>②学年会・職員会等でいきいき遊び、なかよし遊びについて内容検討。環境構成の工夫等職員で共通理解のもと実施で子どもの主体性及び意欲向上</p> <p>2. ①資質能力の3つの柱・10の姿を意識した保育計画・実施と改善・工夫で保育内容充実</p> <p>②異年齢保育の良さを職員間で共通理解し、遊びや活動に合わせて実施。情報交流の中で子ども理解と反省及び改善で異年齢保育の充実</p> <p>③個別支援計画作成と面談実施。保護者との共通理解とケース会議随時実施で要支援児保育充実</p>	<p>T2</p>
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>円滑な園経営の推進及び保育士の資質向上</p>	<p>1. 「架け橋期」教育を意識した保育の充実と研究実践発表（岐阜県幼稚園教育研究協議会）</p> <p>①小学校と連携した「昭和小学校区接続期カリキュラム」の見直しと改善</p> <p>②参観・行事等における子ども・職員交流の実施</p> <p>2. 教諭の資質向上</p> <p>①園内研究会（3回）実施で保育実践のPDCAサイクルによる保育内容充実</p> <p>②各種研修への参加で資質向上と学びの職員間共有</p> <p>3. ワークライフバランスを意識した園運営</p> <p>①業務負担軽減の検討・改善の積極的実施</p> <p>②良好な人間関係の構築促進</p>	<p>1. ①小学校と合同研究会を計画・実施し、「接続期カリキュラム」の見直し・改善等発表実践実施</p> <p>②園内研究会や授業参観等、子ども・職員で交流及び発表に向けた実践実施と実践記録作成</p> <p>2. ①園内研究会（3回）実施。保育実践に対する意見をふまえた振り返り、反省及び改善で保育内容充実</p> <p>②各種研修参加と職員間での情報共有にて職員の資質向上</p> <p>3. ①紙配布の電子化、誕生会の回数削減等で業務負担削減実施</p> <p>②職員間の人間関係良好で働きやすい環境整備</p>	<p>T2</p>
<p>目標3</p> <p>養正幼稚園との統合に向けた準備</p> <p>円滑な幼稚園統合に向けた園運営</p>	<p>1. 養正幼稚園との交流事業の実施</p> <p>①養正幼稚園との交流事業実施と、実施内容の保護者周知実施</p> <p>②職員間の交流による各園の園運営把握と幼児理解共有</p> <p>2. 養正幼稚園との統合に向けた準備</p> <p>①保育幼稚園課との連携による情報共有</p> <p>②養正幼稚園との統合に向けた職員の意識統一促進</p> <p>③養正幼稚園との円滑な統合に向けた育友会との連携</p>	<p>1. ①養正幼稚園との園児交流実施（11月）。実施後内容を保護者に周知</p> <p>②園長・育友会会長で予算のすり合わせ確認。10月養正園内研究会参加で進め方等把握と職員周知。その進め方を参考に11月園内研で実施</p> <p>2. ①保育幼稚園課との連携・情報共有により、保護者・地域説明会等円滑に実施</p> <p>②養正幼稚園との円滑な統合に向けて職員間で情報共有し意識統一促進</p> <p>③今後必要な動きについて園長・育友会会長で確認</p>	<p>T3</p>
<p>目標4</p> <p>親育ち支援事業の充実</p> <p>親育ち4・3・6・3たじみプランと連動した保護者支援</p>	<p>1. 基本的な生活習慣の向上促進</p> <p>①たじっこチャレンジ（3回）や通信、生活習慣アンケートを活用して、生活習慣向上の促進</p> <p>②毎日の挨拶運動及び『挨拶で絆の日』の実施</p> <p>③年長保護者アンケートと、小学校校長先生による講話実施（10月）</p> <p>2. 食育活動及び読書活動の推進</p> <p>①親子収穫体験、給食試食会の実施</p> <p>②親子絵本貸し出しの実施と絵本ボランティアの活用</p> <p>3. 親子ふれあい遊びの推進</p> <p>①園日より、クラス便りにて親子ふれあい遊びの提案</p> <p>4. 家庭教育学級の円滑な実施（年4回）</p>	<p>1. ①たじっこチャレンジ（3回）、懇談会資料、通信、メディアアンケートにて生活習慣向上促進</p> <p>②毎日正門にて親子に挨拶。『挨拶で絆の日』だけでなく挨拶促進で園児の挨拶増加</p> <p>③年長保護者アンケート実施（7月）。集計と内容検討で小学校校長先生講話実施（10月）</p> <p>2. ①親子で夏野菜栽培収穫と試食会（2月）及び年長保護者への栄養士講話実施で食育推進</p> <p>②親子絵本貸し出しと保護者絵本読み聞かせ実施</p> <p>3. 園だよりの親子ふれあい遊び提案（3回）にて親子の良好な関係構築と体力向上促進</p> <p>4. 育友会と連携し家庭教育学級実施（年4回）</p>	<p>T3</p>
<p>目標5</p> <p>地域に開かれた幼稚園運営の充実</p> <p>地域と連携した円滑な園運営</p>	<p>1. 地域の教育力を生かした保育の充実</p> <p>①土岐川観察館と交流し（年7）、自然体験活動を充実</p> <p>②地域の小中学校や老人施設との交流</p> <p>③児童館との交流と未就園児への園庭開放</p> <p>④評議員会を実施し、園運営に反映</p> <p>2. 保護者の園運営及び保育理解の推進</p> <p>①ホームページ更新（月1）</p> <p>②関係機関へ園だよりを配布（月2）</p> <p>③家庭教育学級への参加</p> <p>④誕生会後等を利用し、子育て相談及び座談会実施</p>	<p>1. ①土岐川観察館と交流し（7回）生き物とのふれあい等充実した自然体験活動実施</p> <p>②昭和小・平和中学・ハート京町等地域施設との世代間交流実施</p> <p>③こども広場（7,9月）観劇（12月）に地域の未就園児（26人）、児童館（16人）参加、交流実施で幼稚園への関心向上</p> <p>④評議員会実施（6,2月）。園の運営内容理解と意見交流内容を園運営に反映</p> <p>2. ①ホームページ毎月更新で園行事紹介実施</p> <p>②関係機関へ園だより配布（月2回）</p> <p>③家庭教育学級の内容と様子把握</p> <p>④誕生会後に座談会実施で保護者支援実施</p>	<p>T3</p>

組織名称	明和幼稚園
補職名・氏名	園長 井口 裕子

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度	
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）		
目標1	<p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を基にした教育活動の見直しと改善</p> <p>①少人数学級・異年齢保育の良さを活かした活動の工夫</p> <p>②なかよし遊び・全園活動の内容検討と実践の工夫</p> <p>③「架け橋期」教育を意識した教育活動の充実</p> <p>④小学校との双方向連携及び職員交流、参観の実施</p> <p>2. 運動が楽しいと感じる取り組み及び「いきいき運動遊び」の充実</p> <p>①わんぱく山、固定遊具、体育用具を有効活用した多様な運動経験ができる遊びの工夫</p> <p>②体力テストの実施(2回)と検証</p> <p>③幼児の運動・体力アップにかかわる研修等への参加</p>	<p>1. ①積極的な合同保育実施(園外保育・プール・制作活動等)により異年齢で刺激し合い成長</p> <p>②なかよし遊びの振り返りは全年齢で毎日実施、指導計画は学期単位の見直しをもって作成</p> <p>③自分の思いを伝える場面を大切に保育により伝える話す力・聞く力が育成</p> <p>④北栄小学校見学を通し卒園児や1年生担任との交流実施、年長担任が南姫小学校研究発表に参加</p> <p>2. ①『森の時間』実施し山遊び充実、幼研運動部会の学び取り入れ多様な動きの経験と興味が増進</p> <p>②全年齢2回実施し結果を検証、活動に反映</p> <p>③幼研運動遊び部会2名・教師塾1名参加し学びを保育に反映し活動充実</p>	T2
目標2	<p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>教育の質の向上、維持を前提とした業務改善</p>	<p>1. 職員の資質向上</p> <p>①指導者を招いた公開保育・園内研究会を実施し(2回)、少人数の良さを生かした教育を実践</p> <p>②各種研修・研究会参加と実践資料提出による学びの共有</p> <p>③園内研修(年間8回)の実施</p> <p>2. ワークライフバランスを意識した園経営</p> <p>①少人数の職員で効率よく業務を進めるための業務内容の見直しと協力体制の構築</p> <p>②事務処理・各種書類様式の簡素化</p> <p>③良好な人間関係のもと、働きやすい職場環境の設定</p> <p>④ICTによる業務改善の研究</p>	<p>1. ①市教委指導主事・東濃教育事務所指導主事による園内研助言にて少人数の教育内容が充実</p> <p>②副園長研・推進研・課題研・幼研・専門研に年間参加と資料提案、その他研修参加延べ14種</p> <p>③月1回の職員会に合わせ職員研修(研修報告)実施</p> <p>2. ①研修の分担参加・合同保育による保育実践、担任・学級加配・支援担当が連携し業務分担</p> <p>②行事計画書削減、なかよし遊び計画書様式変更、献立表・園便り等のネット配信により業務が軽減</p> <p>③降園後の時間で保育を振り返り互いに話題を共有、意見しやすい雰囲気が構築</p> <p>④きずなネットにて園便り・クラス通信・保護者へ周知事項・年賀状配信、懇談会資料にYouTube動画活用</p>	T2
目標3	<p>旭ヶ丘保育園の「直営化・こども園化」に向けた準備</p> <p>旭ヶ丘保育園との連携推進</p>	<p>1. 旭ヶ丘保育園との定期的な交流事業を企画・実施し、園児・保護者の不安軽減</p> <p>①交流事業(年間5回)を企画・実施し内容を保護者周知</p> <p>②交流事業を通し職員間の交流による幼児理解の共有</p> <p>③希望者(児)のスムーズな転園</p> <p>2. 直営化・こども園化に向けた「こども園準備部会」と連携し、研修・準備作業の実施</p> <p>①「こども園準備部会」の報告を職員共有。準備作業実施</p> <p>②閉園に向けイベントを企画。園備品等の整備</p> <p>3. 地域住民への情報発信</p> <p>①HP・わんぱく山便りの作成と発信</p> <p>②評議員会・中学校区懇談会等による地域との連携</p>	<p>1. ①6回交流事業を実施し写真・スライドショー・クラス通信にて様子を保護者へ周知し理解増進</p> <p>②実態をふまえた事前打合せ実施、園長副園長間で情報交流し年度末に引継ぎ実施</p> <p>③こども園の説明会(2回)・幼稚園部入園説明会実施し保護者対応、保育園との交流にて不安は軽減</p> <p>2. ①運営打ち合わせ6回実施し情報を共有、旭ヶ丘こども園入園関係事務実行</p> <p>②バルーンリリース・一般開放イベント・閉園式実施、明和・旭ヶ丘の備品等を整理し引継ぎ準備</p> <p>3. ①わんぱく山便り3号発行、運動会・一般開放イベントの情報提供</p> <p>②園運営及び閉園の説明と情報提供、協力依頼</p>	T2
目標4	<p>要支援児保育の充実</p> <p>支援内容の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援内容の工夫と充実</p> <p>①ユニバーサルデザインを意識した環境構成と指導援助の工夫</p> <p>②療育機関との交流、見学による支援内容の共有</p> <p>③家庭と連携した支援の充実</p> <p>④支援児研究会・特別支援コーディネーター研修会への参加とケース検討会議(月1回)開催による支援児保育の理解促進</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校との交流実施</p> <p>②幼保小連絡会参加、就学支援シート・スマイルブック等を活用した支援内容の共有及び小学校との連携</p>	<p>1. ①表示や見てわかる環境援助の工夫により自ら取り組む姿増加と意欲が育成・成長</p> <p>②療育見学(6回)と園訪問(2事業者)にて連携</p> <p>③登降園時・個別支援計画作成時・評価時の懇談にて家庭と支援内容の共有及び保護者支援実施</p> <p>④支援学習会へ5名参加・放課後7児見学3名・月1回又随時のケース会議にて支援内容を職員共有</p> <p>2. ①訪問(園外保育)・小学校研究発表参加にて卒園児の様子を把握と小学校教育の理解増進</p> <p>②スマイルブック所持3名(1名引継ぎ会参加)・幼保小連絡会にて支援申し送り、巡回相談4名検討(1名は就学等支援委員会資料を作成)、特別支援学校教育相談同行、就学支援シート作成</p>	T3
目標5	<p>親育ち支援事業の充実</p> <p>親育ち4・3・6・3たじみプランと連動した保護者支援</p>	<p>1. 保護者支援の充実</p> <p>①家庭教育学級の実施(年5回)</p> <p>②通信発行、個別・学級懇談による保護者支援</p> <p>③家庭の日と連動した絵本貸し出しの実施</p> <p>④給食試食会・栽培活動を通した食育指導の実施</p> <p>2. 親子ふれあい遊び(体力アップ活動)の推進</p> <p>①参観日、運動会等において親子で体を動かす活動の実施</p> <p>②園だより、クラス便りにて親子ふれあい遊びの提案</p> <p>3. 基本的な生活習慣の定着、安全指導の実施</p> <p>①家庭と連携した生活習慣向上を目指した指導の工夫</p> <p>②毎日の挨拶運動と『挨拶で絆の日』の実施</p> <p>③交通教室及び、登降園時における交通ルールの指導実施</p>	<p>1. ①計画通り5回実施、お茶会は好評</p> <p>②写真活用した記事・懇談内容にて保護者が安心、きずなネット配信を活用し速やかな情報提供実施</p> <p>③ファミリー絵本貸し出しは保護者に好評、長期休業中の貸出増加、クラス便りにて読書啓発</p> <p>④給食試食会は保護者13名参加、9種野菜栽培ワークショップ2回、家庭へ持ち帰りし食育の家庭連携実施</p> <p>2. ①親子ふれあい体操・親子いきいき遊び実施</p> <p>②親子運動遊びの紹介(10回)</p> <p>3. ①スマホ使用啓発リーフレット配布、生活習慣啓発記事園便り掲載、家庭へ生活習慣目標の評価フィードバック</p> <p>②挨拶習慣が定着</p> <p>③登降園時は親子で手を繋ぐを保護者へ周知、啓発</p>	T3

組織名称	笠原小学校附属幼稚園
補職名・氏名	園長 大塚 みゆき

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標 題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	<p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>「お互いを尊重し主体的に学び挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実</p>	<p>1. 好奇心や意欲を引き出す遊びの充実</p> <p>①季節・環境を生かした体験活動や遊びを計画的に実施し、意欲向上と心の育成（自然・体験活動・食育活動・造形活動・世代間交流・幼保の交流・一貫教育）</p> <p>②資質・能力の3つの柱から繋がる幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識し発達に合わせた取組を推進</p> <p>2. 運動が楽しいと感じる取組を充実</p> <p>①体力向上に向け「体力アッププラン」を作成し発達に即したいいきいき運動遊びを毎日実施</p> <p>②思わず体を動かしたくなる環境構成の工夫で、どの子どもも楽しめる運動遊びを計画し実施</p> <p>③体力テストを実施し、効果を検証</p>	T2
目標2	<p>笠原こども園の開園に向けた準備</p> <p>円滑な移行準備、工事期間中の安全な保育の実現</p>	<p>1. ①笠原こども園のスムーズな移行に向けて、幼保交流計画を作成。計11回実施し連携と親睦を強化</p> <p>②園運営協議会を園長・副園長・保育リーダーで実施。1日のデイリー・年間行事・書類・入園準備を確認</p> <p>③小学校工事関係者と連携。状況把握し安全確保</p> <p>④統合に向けて保育幼稚園課より保護者説明会を実施。保護者へ情報発信し理解を促進</p> <p>⑤育友会調整会議を計画的に実施し、スムーズな移行</p> <p>⑥令和7年度末の開園に向けて引っ越しの準備や備品の整理を円滑に実施</p> <p>⑦笠原幼保小中一貫教育の理念を踏まえた教育の充実</p>	T2
目標3	<p>保育事業の充実と業務改善</p> <p>保育士の資質向上及び働きやすい職場改善</p>	<p>1. 保育士の資質向上</p> <p>①保育力の向上を図るため、外部講師による園内研修を実施し(3回)、3つの柱からつながる10の姿を意識した討議を実施しPDCAサイクルを実施</p> <p>②各種研究会での学びを職員間で共有し、保育に活用</p> <p>③園内研修を実施し資質向上（こども園・運動遊び・危機管理・支援を要する子の理解）</p> <p>④小学校と連携し架け橋期を意識した取組を実施</p> <p>2. 計画的な取組と業務改善</p> <p>①日常的かつ意識的な業務改善の推進。ペーパーレスを意識した取組</p> <p>②年間計画を作成し、業務を役割分担し円滑に進行</p>	T3
目標4	<p>親支援の充実</p> <p>親育ち4363と運動した親支援の充実</p>	<p>1. 保護者支援の充実</p> <p>①園だよりや懇談会で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②笠原幼保小中一貫教育の理念を保護者へ周知し啓発</p> <p>③個別懇談（年3回）、子育てサロンや送迎時に家庭の状況を把握。保護者をサポートし子育て力を向上</p> <p>④各種通信を通して保護者への保育内容の理解、協力を促進し、基本的な生活習慣や遊びの大切さを啓発</p> <p>⑤支援児に対する個別支援計画を作成。保護者との個別懇談（年2回以上）で家庭と連携した保育を実施</p> <p>2. 運動遊びの充実、情報提供及び推進</p> <p>①運動遊びを通じた体力向上の重要性を保護者へ周知</p> <p>②家庭内で取り組める運動遊びの事例紹介の推進</p>	T3
目標5	<p>安全な保育の実施</p> <p>打ち合わせや訓練により安全、安心な保育の実施</p>	<p>1. 災害時の対応は職員会で振り返り、常時確認</p> <p>①地震や自然災害における対応について随時研究し改善</p> <p>②感染症予防対策の徹底と状況に応じた対応を実施</p> <p>③防犯訓練及び交通指導等の定期実施</p> <p>④施設・遊具点検（月1回）の実施</p> <p>⑤笠原校区引取り訓練実施。大雨を想定し課題確認</p> <p>⑥朝礼や職員会にてヒヤリハット事案を共有。防止に向けた対応・対策を職員で検討</p> <p>⑦保育室の環境整備・点検を予定通り実施</p> <p>2. ①エビペン保持2名とアレルギー対応1名の園児の状況を保護者・職員間で共有。朝礼にて献立の確認</p> <p>②毎日の清掃を実施。夏場の給食提供やクッキングの実施では、衛生面を徹底し実施</p>	T3

組織名称	精華小学校附属愛児幼稚園
補職名・氏名	統括園長 藤浪 貴大

令和7年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標	達成度
目標1 健全な心と体を育む保育の充実 「お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子」を目指した保育の充実	T2
目標2 保育事業の充実と業務改善 園児の健全な発達と業務軽減を両立させる活動の実践	T2
目標3 要支援児・医療的ケア児保育・教育の充実 連携強化による安全なケアの実施	T2
目標4 公立幼保の円滑な事業推進 統括園長として行政と園の調整	T3
目標5 危機管理体制の強化と安全な教育の実践 安全教育の実施のための環境整備	T3